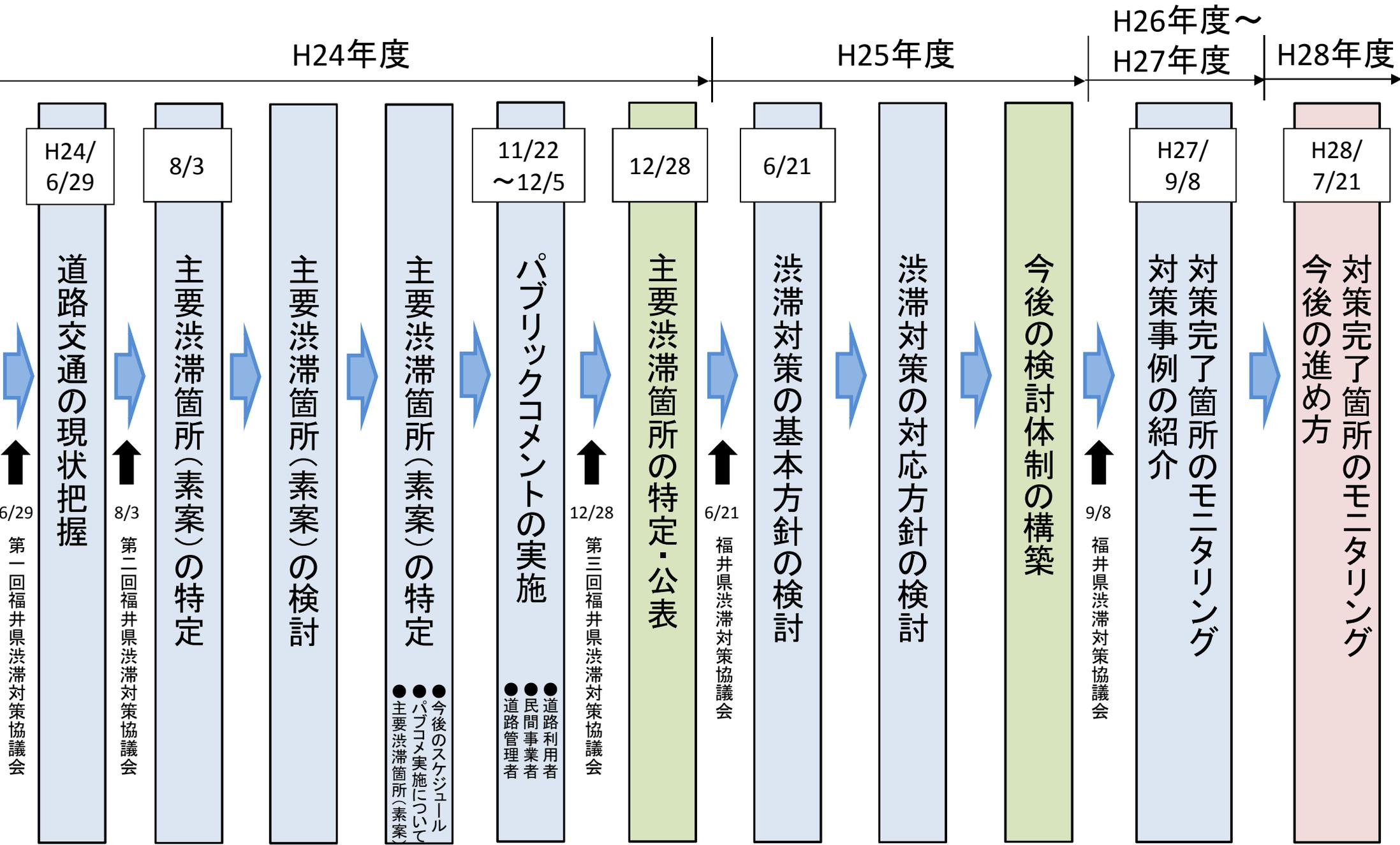


平成28年度 福井県渋滞対策協議会

～これまでの検討経緯～

平成28年7月

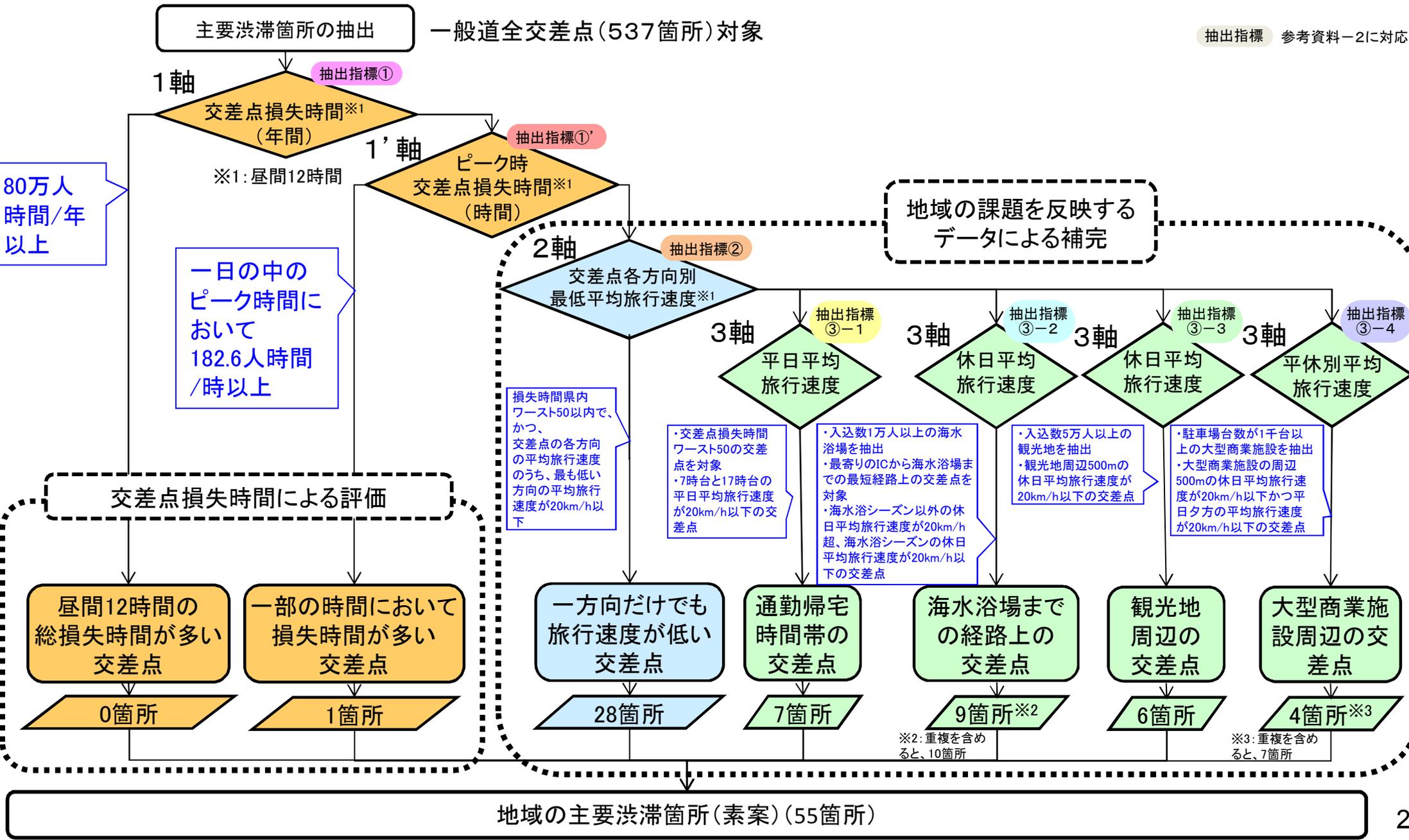
1. 福井県渋滞対策協議会の検討経緯



2. H24年度の検討内容

主要渋滞箇所(素案)の抽出

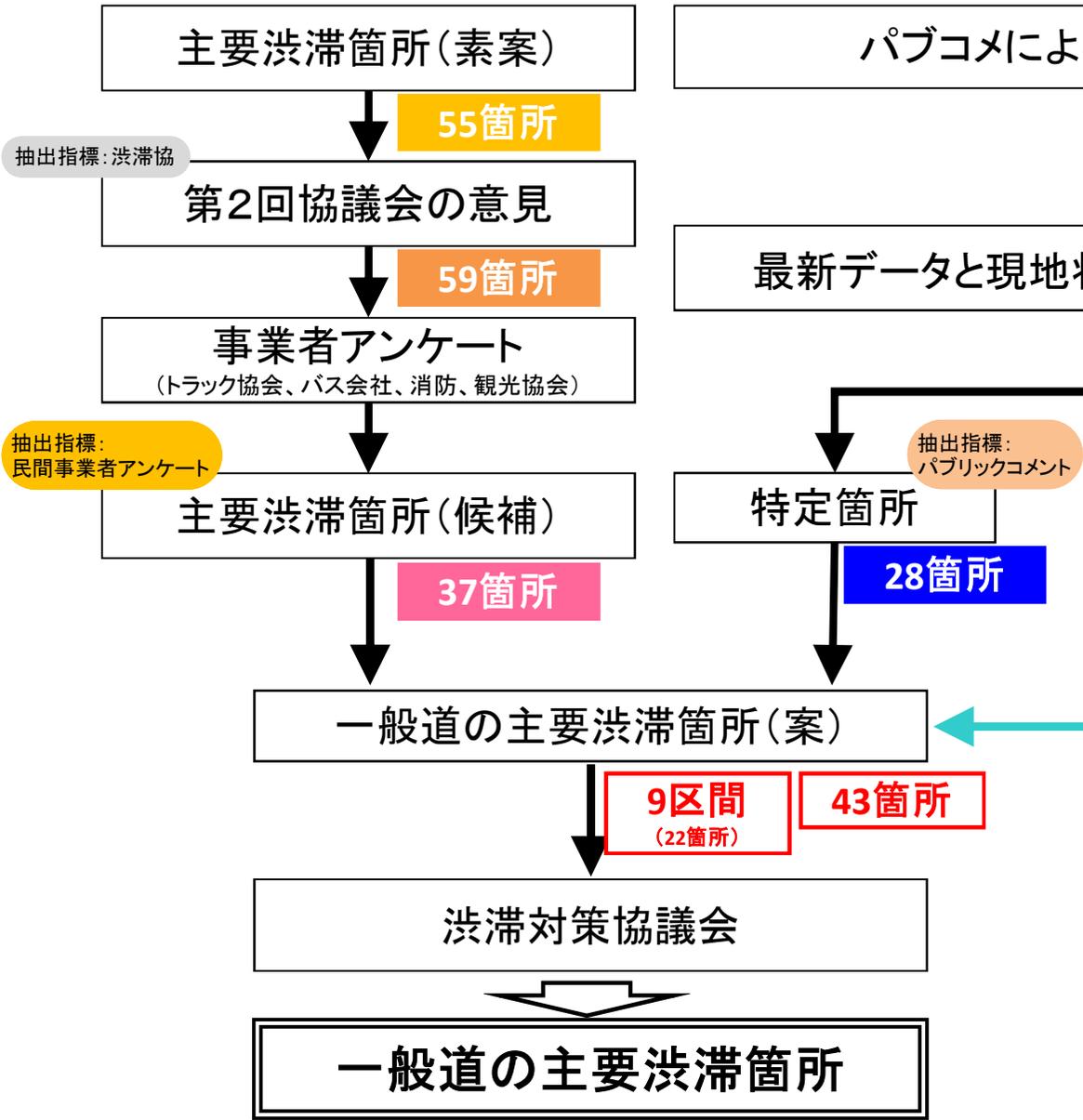
各種交通データ(交差点損失時間、民間プローブデータ等)を用いて、主要渋滞箇所(一般道路)(素案)を選定した。



2. H24年度の検討内容

主要渋滞箇所の選定

- 主要渋滞箇所(素案)より、協議会の意見および事業者アンケートを踏まえて主要渋滞箇所(候補)を抽出した。
- パブリックコメントを実施し、主要渋滞箇所(候補)と追加意見箇所を加えて、主要渋滞箇所(一般道)を選定した。



抽出指標: 渋滞協

抽出指標:
民間事業者アンケート

抽出指標:
パブリックコメント

抽出指標 参考資料-3に対応

集約区間の設定

交差点が連続し、区間として混雑している複数箇所を「区間」、その他を「箇所」と分類
 ・最新データと現地状況で渋滞の方向を勘案し、区間を設定

● : パブコメ実施時の渋滞箇所の候補
 ● : パブコメによる追加意見箇所
 ← : 渋滞方向

※ 今回選定されなかった箇所を含め、継続的に現地状況のフォローを実施

3. H25年度の検討内容

検討経緯

- 福井県における道路の渋滞対策を効率的に進めていくために、「福井県渋滞対策協議会」※(以下、協議会)において、道路利用者の皆様が実感している渋滞箇所を「地域の主要渋滞箇所」として選定しました。
- この度、「地域の主要渋滞箇所」に対する対策の対応方針を「協議会」にて検討し、決定しました。

※「福井県渋滞対策協議会」の構成員
 国土交通省近畿地方整備局、中部運輸局、福井県、福井県警察本部、中日本高速道路株式会社、西日本高速道路株式会社、一般社団法人福井県商工会議所連合会、一般社団法人福井県トラック協会、公益社団法人福井県観光連盟

- H24.6 第1回協議会
- H24.8 第2回協議会
- H24.12 第3回協議会
- 地域の主要渋滞箇所 選定
- H25.6 第1回協議会
- 対策の対応方針

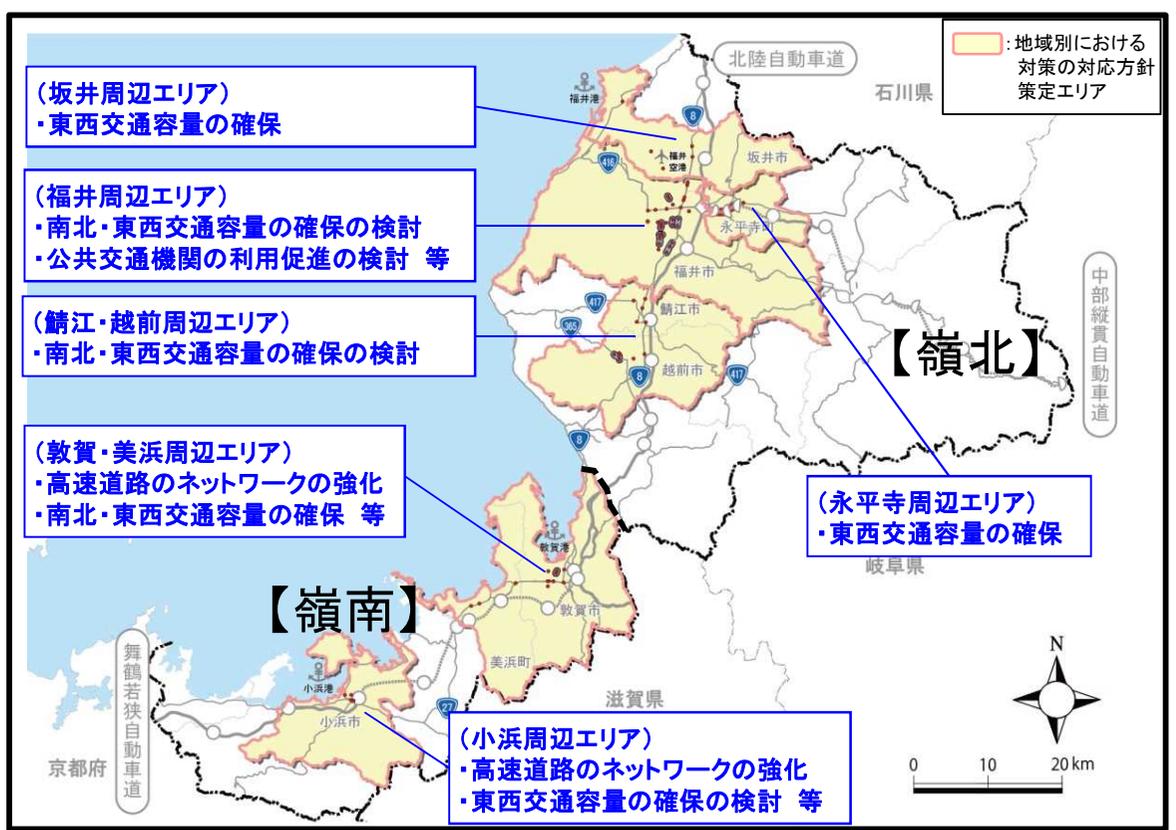
1. 福井県の概況

概要	
県域特性及び道路交通状況	【地域特性】 ・福井県は関西と北陸を結ぶ要衝の地であり、共働き率および自動車の1世帯当たりの保有台数が全国1位と自家用車利用の多い県です。 ・地域区分は嶺北地方と嶺南地方に分かれ、嶺北地方は県都としての都市機能が集積する福井周辺エリア、福井港や芦原温泉のある坂井周辺エリア、歴史文化資源や福井大学等の学術研究機関が立地する永平寺周辺エリア、高速へのアクセス性の良さから工業地域が集積する鯖江・越前周辺エリアに区分されます。嶺南地方は重要港湾敦賀港が立地する敦賀周辺エリア、国定公園である若狭湾に面した小浜周辺エリアに区分されます。
	【道路交通の状況】 ・嶺北地域は北陸自動車道、国道8号等の南北の幹線道路が、嶺南地域は国道27号等の東西の幹線道路が交通の主流となっています。 ・嶺北地域は全体的に交通量が多いことによる渋滞、嶺南地域は主要幹線である国道27号へのアクセス道路において渋滞が見られます。 ・福井市には、県内の主要渋滞箇所の約3割が集中し、坂井市や鯖江市、越前市、永平寺町、敦賀市、美浜町、小浜市にも渋滞箇所が存在しています。

2. 現在の主な対策等

概要	
総合対策等	(ハード対策) 交通容量の確保を図る以下の対策を推進。 ・南北・東西の交通容量を確保するための幹線道路の整備。 ・敦賀、金山、美浜東バイパスといった2車線道路の4車線化。
	(ソフト対策) ・市街地中心部へ向かう交通手段のコントロールを図るための公共交通機関の利用促進。 ・南北の一般道路の需要の低減を図るため、高規格幹線道路等への誘導・分散化。

3. 福井県全体の交通ネットワーク



対応方針

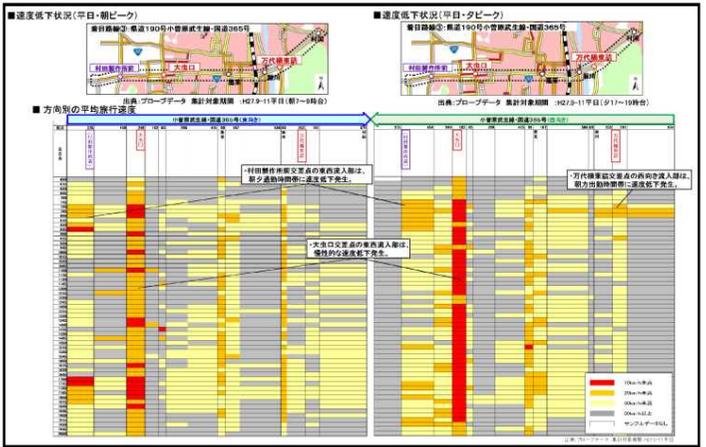
■国、県、警察や道路会社等と連携しながら、幹線道路の整備、バイパスの4車線化等による交通容量等の確保及び公共交通機関の利用促進等のソフト対策による渋滞軽減への取り組みを図り、渋滞対策協議会等において、対策の検討及び対策効果を検証して参ります。

4. H26~27年度の検討内容

1) 主要渋滞箇所の対策検討

交通ビッグデータを活用した検討

国土交通省が提供する民間プローブデータを活用し、路線や交差点周辺の速度状況を把握



万台橋東詰交差点(越前市村国)

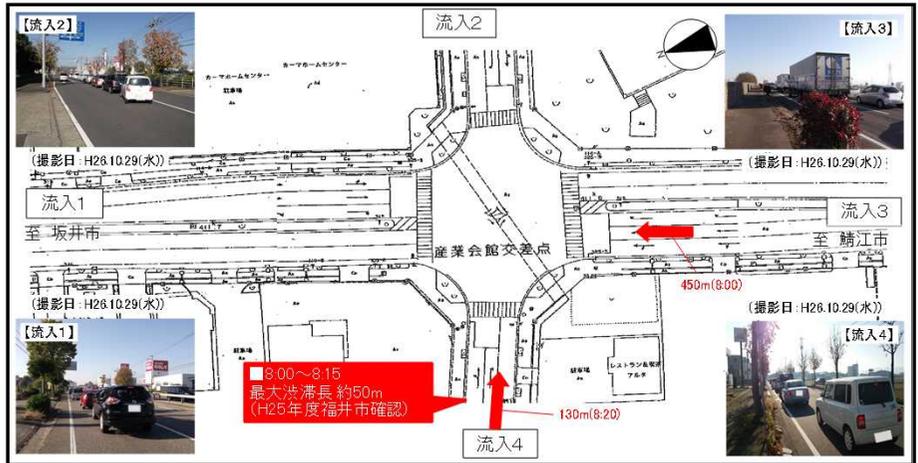
▲路線の速度状況把握



▲交差点周辺の速度状況把握

交通実態調査の実施

地域検討WGでの対策検討箇所について、事務局が主体となって交通実態調査を実施し、渋滞状況を把握



▲交通実態調査結果



▲交差点周辺状況

5. H26年度の検討内容

2) 対策完了箇所における旅行速度状況の確認

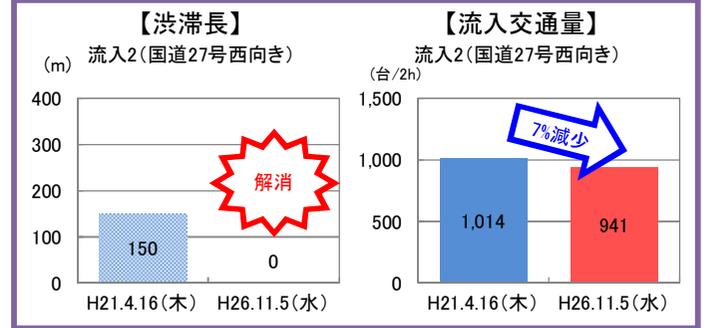
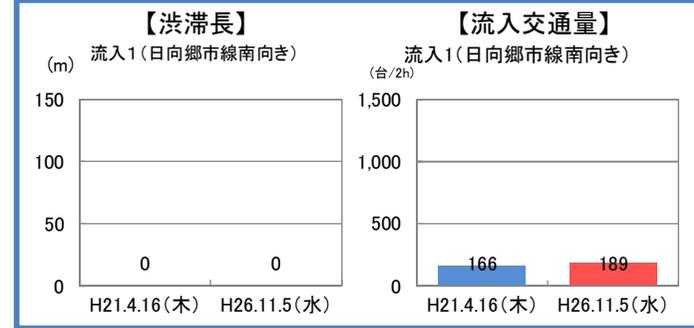
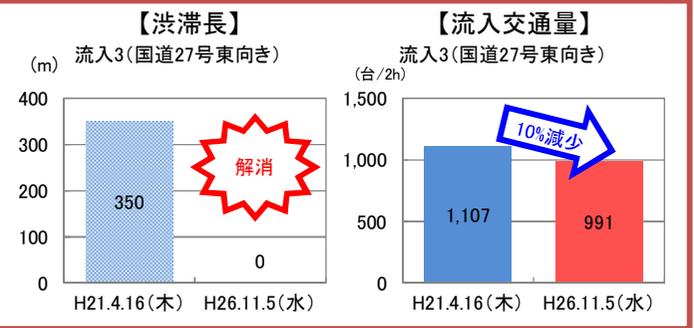
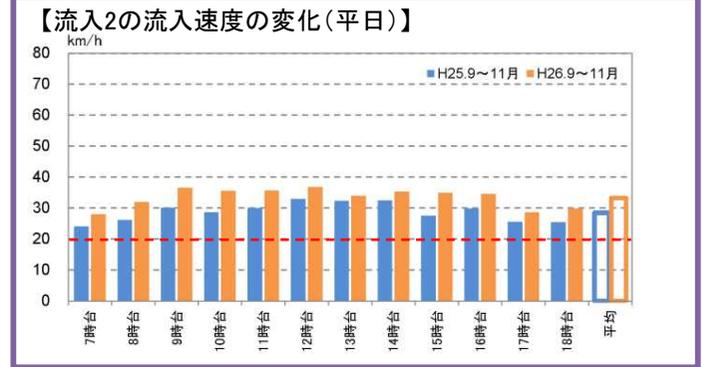
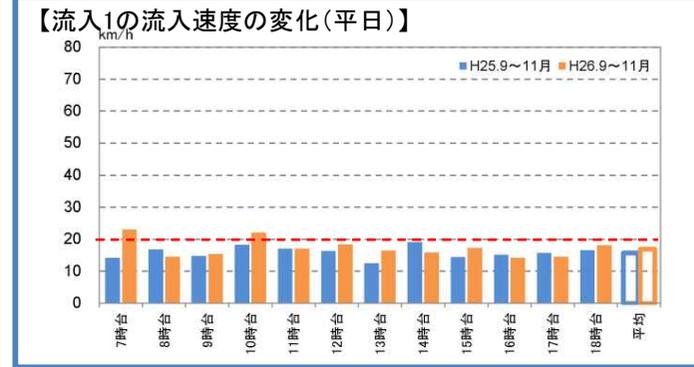
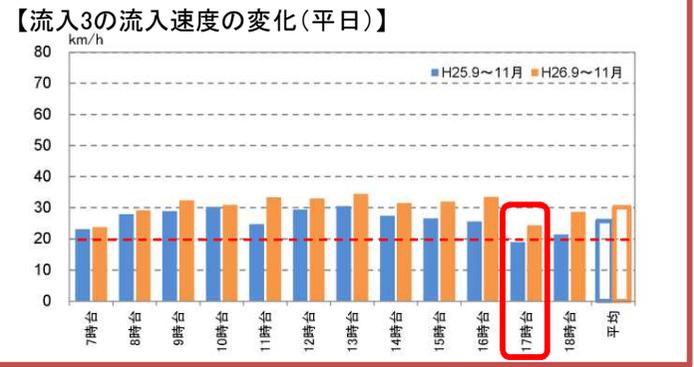
舞鶴若狭道の全線開通効果

- 舞鶴若狭道の全線開通前に渋滞が発生していた流入2,3では、全時間帯で流入速度が向上し、20km/h未満となっていた流入3の17時台の流入速度も20km/h以上に向上した。
- 舞鶴若狭道の全線開通により、郷市交差点に流入する東西交通量は概ね1割減少し、現地確認の結果、流入2,3の渋滞が解消した。
- 流入1は踏切の影響もあり流入速度は20km/h以下ではあるが、現地確認の結果、渋滞は発生していない。

舞鶴若狭道全線開通後の郷市交差点の交通量・渋滞状況の変化



郷市交差点流入速度の変化(平日) ※民間プローブデータ 開通前:H25.9-11、開通後:H26.9-11



6. H27年度の検討内容

ワーキンググループの実施

- 平成27年度は、嶺南地方・嶺北地方のワーキンググループをそれぞれ1回ずつ、嶺北地方ワーキンググループ越前分科会を2回実施した。
- 嶺南・嶺北地方ワーキンググループでは、福井県の主要渋滞解消箇所の解消に向けて、国・県・市町・県警が集まり、具体的な対策検討を行うため討論を行った。
- 越前地区分科会では、越前市内の主要渋滞箇所に対して渋滞要因について認識の共有を行い、対策案、対策案実施に向けた役割分担について討議を行った。第1回越前地区分科会において、対策実施済・対策可能性のある箇所として議題にあがった「村田製作所前交差点(仮称)」、「芝原4交差点(仮称)」、「新保交差点」について、対策の効果検証、および更なる追加対策について議論するため、「第2回越前地区分科会」を開催した。

日時

- 嶺南地方ワーキンググループ
平成27年7月8日(水) 9:30~11:30
- 嶺北地方ワーキンググループ
平成27年7月10日(金) 14:00~16:00
- 嶺北ワーキンググループ越前地区分科会
第1回 平成27年12月21日(月) 10:00~12:00
第2回 平成28年3月25日(金) 13:00~15:00



嶺北WG越前地区分科会第2回開催風景

嶺北WG越前地区分科会議事

平成27年12月21日(月) 10:00~12:00
近畿地方整備局 福井河川国道事務所 第二会議室

平成27年度 福井県渋滞対策協議会
嶺北地方WG越前地区分科会 (第1回)

議 事 次 第

1. 開会
2. 座長挨拶
3. これまでの経緯とWG分科会の主旨……………資料-1
4. 議題
【討議事項】
(1) 越前市の速度低下発生状況……………資料-2
(2) 次回WGまでの取組みについて……………資料-3
【参考】
・主要渋滞箇所位置図……………参考資料-1
・主要渋滞箇所の選定理由……………参考資料-2
・個別箇所対策について……………参考資料-3
➢ 村田製作所前交差点(仮称)……………参考資料-3.1
➢ 塚原交差点……………参考資料-3.2
➢ 大虫口交差点の渋滞カルテ……………参考資料-3.3
5. 閉会

平成28年3月25日(金) 13:00~15:00
近畿地方整備局 福井河川国道事務所 5階テレビ会議室

平成27年度 福井県渋滞対策協議会
嶺北地方WG越前地区分科会 (第2回)

議 事 次 第

1. 開会
2. 座長挨拶
3. 前回議事概要の確認……………資料-1.2
4. 議題
【討議事項】
(1) 越前市における渋滞対策について……………資料-3
・新保交差点
・芝原4交差点(仮称)【伊武生橋(都市計画道路戸谷片原線)】
・村田製作所前交差点(仮称)
・TDM効果(時差通勤)
(2) 今後の取組み(案)について……………資料-4
【参考】
・主要渋滞箇所位置図……………参考資料-1
・主要渋滞箇所の選定理由……………参考資料-2
・越前市の速度低下発生状況について……………参考資料-3
5. 閉会

嶺北WG越前地区分科第2回WG結果

- 村田製作所前交差点(仮称)
 - ・右折滞留長の延伸(南向き)により、一定の速度低下の改善が見れるが、依然として現地では、渋滞の発生が確認された。
 - ・そのため、追加対策として村田製作所やアイシン・エイ・ダブリュ工業を対象とした朝ピーク時間帯の時差通勤を検討する。
- 芝原4交差点(仮称)
 - ・右折右矢の設置(西向き)により、渋滞の緩和が確認されたが、プローブデータ上では、速度低下の改善は見られなかった。
 - ・そのため、対策実施から一定の期間を空け、十分なサンプルの上で、再度効果検証を実施する。
- 新保交差点
 - ・信号現示の運用変更(ピーク時除く)が実施されたが、ピーク時においても運用変更の余地ありと判断されたため、追加対策として今後検討を進める。

嶺北WG越前地区分科会第2回WG参加者

分類	名称	所属
道路管理者	福井河川国道事務所	・副所長(改築) ・調査第二課
	福井県土木部	・道路建設課 ・丹南土木事務所
	越前市建設部	・都市計画課
交通管理者	福井県警察本部	・交通規制課